谷戸の風 ㊾

一寸先は闇

山内静夫

今年もはや一年の半分がすぎようとしている。年齢を重ねてくると共に、月日の流れが段々早くなってくるように感じてならない。人生の終点が次第に近くなってくるせいかと思ったりする。

いま梅雨のシーズンの真っ只中だが、この一週間程は晴れの日が続いた。〝つゆのはれま〟というしゃれた日本語があるが、晴間という程降りつづいた訳ではない。

気のせいか、この数年梅雨入りと新聞に出たりすると雨が降らなくなる皮肉な傾向があったが、今年はどうか。今日（六月十七日）からは雨が続くとも言われているが、それと同時に台風の発生のニュースも聞こえてきた。若い頃は台風と言えば秋九月頃のものと決っていたが、最近は六、七月の梅雨の頃に日本列島にやってくるようになった。長雨の続いた挙句だと被害も大きくなるので心配だ。

近年自然災害が多いのは日本の気象が変ったせいもあるのではないだろうか。冬の間も、日本の国内では殆ど使わない言葉だった三寒四温という言葉が使われるような寒暖の差の激しい日が何日かあった。四季の美しさは気候の変化に支えられていると言ってもよいのだから、外国人も褒めそやす日本の国土の魅力が失われそうで気になってならない。好き嫌いは別にして、暑さ寒さの間の程のよさ、日本の春秋こそ美しい季節として大切な宝だと思う。

ついでに言うべきでは誰も断言できはしない。ないのだけれど、日本列島の火山帯の活動が不安だ。宇宙規模で国土そのものが破壊されてしまうことだって起らないとは

木版画　藤本宿

文学つれづれ ㉓

翁と乙女（六）

赤羽根龍夫

前回は古代歌謡で男女が結婚を目的として祭りの場で歌を掛け合う「歌垣」について述べた。前述の土橋寛は今に歌われている民謡の中にも歌垣の歌があるという。

二十過ぐれば
奥山つつじ
咲いておれども
人が見ん
（二十歳過ぎると奥山つつじと同じで、いくら美しく咲いても、男は見てはくれないよ）

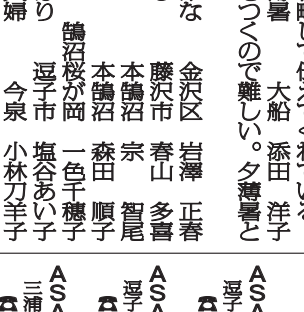
しかし、女のほうでもすぐになびいたわけではなく、男をからかったり、はねつけたりの駆け引きをした。

向つ峰に
立てる夫らが
柔手こそ
我が手を取らめ
誰が裂手
裂手ぞもや
我が手取らすもや
（向こうの峰の歌垣の場に立っているあのお方の柔らかい手ならば私の手を取ってよいけれども、あなた方のようなひび割れた手が私の手をとることなんか出来ないわよ）

東京都の木遣り歌にも次のような歌がある。

娘それぞれ差し櫛が落ちる。落ちてすたりょといらざるお世話なけりゃことの人に買うてもらう

歌垣はもともと単に村の若い男女の恋愛の場であったのではなく、男は遠来の神で、女は村の巫女なのであり、その両者の性的結合によって穀物の雄雌も交わって孕むという豊作を祈る古代からの共感呪術だった。一言で言えば歌垣の場での性的開放は神事であったと言ってよいであろう。それが奈良朝以降は、村の若い男女の見合いの意味も兼ねるようになっていったのである。


かぐやひめ「竹取物語」＝「日本昔ばなしアニメ絵本」より

それでは竹取の翁のような、歌垣の場における老人の役割は何なのであろうか。先に触れたように柳田国男は老人が「おらも若い時や」式の老いを嘆く歌を歌うのは、単なる懐古的抒情であるだけではなく、若い男女に結婚の勧誘をするためであるという。

また土橋寛も「歌舞や性的開放の行事である歌垣は、何といっても若者を選べ、私のようになってはおしまいだと娘介歌を歌う役目があるからまだよいが、「お爺さんの方は全く手持無沙汰な存在で、そこに若者たちの揶揄の材料にされる理由がある」と云う。

確かに竹取の翁の例でも翁は乙女たちにからかわれている。それに対して翁は、自分も若い頃はみんなからもてはやされていたが、今では白頭の老人になってしまったという、この世でさだめを教えさとす。これは述懐と教訓の歌である。しかし私は、その後、老人の心から慕い寄って身をまかせている風情である。そこには精力絶倫のたくましい翁がいる。

この翁とは一体、何者なのであろうか。普通翁は嫗（老女）と並べて考えられているが、それは儒教が入ってきてからのことであり、始原的な古代において翁は神に近い存在であり、翁の相手は乙女だったのである。

歌垣の場である春山入りの主人公も若い男女ではなく、もともとは翁と乙女であるというのが私の考えである。

（神奈川歯科大名誉教授）

「白鳥の湖」大盛況

鎌倉芸術館25周年記念公演

鎌倉芸術館（鎌倉市大船）の開館25周年記念公演の第1弾、バレエの祭典 東京バレエ団「白鳥の湖」が6月16日同館で開かれた。鎌倉が日本のバレエ発祥の地で、東京バレエ団を代表するダンサー上野水香さんが鎌倉出身であることから今回の公演が決まった。

ブルメイステル版「白鳥の湖」全4幕の公演で、芸術監督は斎藤友佳理さん。舞台は大盛況で主役カップルの上野水香・柄本弾さんが何度もカーテンコールに応えた。

公演後に出演者との交流会があり、上野さんは「神奈川に思い入れがあるので、ここで踊れてうれしい」と語った。バレエ衣装のデザインコンテストで公募の139点から「上野水香賞」に選ばれた今川沙紀さん（8歳・横浜市）が表彰を受け、全員で写真撮影をした＝写真。同公演は鎌倉を皮切りに7月まで全国5会場8公演を予定。

31年ぶりの新記録

鎌倉陸上選手権大会

「第60回鎌倉市陸上競技選手権大会」が5月27日、横須賀の不入斗公園陸上競技場で開催され、小学5・6年生から一般・高校生まで約430人が参加した。主催は鎌倉市陸上競技協会（金子彰理事長）と鎌倉市。

中学女子2・3年4×100mリレーで31年ぶりの大会新記録が出るなど4種目で大会記録を更新した。大会新記録は次のとおり（敬称略）。

【中学女子2・3年】4×100mR／勝山ゆうき・七島咲桜・佐藤心花・山下帆南（附属鎌倉）51秒43

【一般男子】800m／松永隆佑（大船高）2分2秒54

【一般女子】走幅跳／佐藤初美（大船高）5m55

200m／山下帆南（附属鎌倉）26秒17

子ども囲碁・将棋教室

鎌倉婦人子供会館

地域住民向けの講座や教室が開かれている鎌倉婦人子供会館（鎌倉市小町）で、6月から子ども向けの囲碁教室と将棋教室が始まった＝写真。

対象は幼稚園年長組から小学生。将棋は水曜・囲碁は木曜、ともに午後4時から。講師の日本将棋連盟公認将棋指導員の長嶋義輝さん、日本棋院囲碁普及指導員の牧野博さんは、幼児から高齢者まで教えているベテランで、「楽しみながら判断力、集中力を高め、礼節を身に着けることができます」と話している。入会随時。問い合わせ☎0467・22・0507

鎌倉朝日歌壇

香山静子 選

味噌汁は烏帽子岩より流れ寄る天然若布　海は生きてる　片瀬 中村 喬

坦々とした表現。結句の「海は生きてる」が効果的。

紫陽花は白き雨粒身に浴びて小さき庭につんと胸張る　葉山町 近藤 純

色彩感があり描写も行き届いている。

子等競う紙飛行機の飛ぶ距離は夢の大きさ計るがごとし　笹目町 出蔵かおる

発想が新鮮で夢がある。

クエックエッと一面の田から湧き起こる幾千の蛙の闇破る声　城廻 塩田 文子

少しずつ出来ぬことがら増え行きて今ならわかる父母の無念さ　葉山町 近藤美知子

古びたる植物図鑑携へて野に遊びつつ草の名覚ゆ　鵠沼桜が岡 一色千穂子

梅雨止まず昼なほ昏き庭隅のほたるぶくろに蛍入れたし　今泉台 下田 和夫

奥多摩の空・山・川のあをき風イオン見えねどわが胸浸す　辻堂 柳 蒼柳

朝顔の支えの竹垣組み終え笑顔の彼に初夏の陽やさし　梶原 中澤 二郎

半世紀以上も前の遠足をよみがへらせる六国峠　金沢区 岩澤 正春

江の電のくゎんくゎんくゎんと踏切の音聞こゆればいざ起きむけふも　七里ガ浜 嶋 尚久

鎌倉朝日俳壇

星野 高士 選

〈天〉初蝶に会ひしは去年と同じ道　腰越 大川 昭子

初蝶に会った喜びを場所でうまく表現できた。去年と同じ道に思いがある。

〈地〉吊革の爪華やかに夏来たる　笹田 上田 満喜

立夏の季題だからこそ目にとまった風景である。中七に作者の躍動感もある。

〈人〉祇園会や稚児の眉掃く宵の町　葉山町 近藤 純

京都の暑い夏はこれにはじまる。いろんな場面をうまく写生している。

老鶯や逗子も葉山も山つづき　逗子市 佐藤 信子

逗子と葉山は海つながりだが、山も続いているのだ。

闇の中谷の中へと蛍追ふ　城廻 塩田 文子

いかにも蛍狩りの情況を省略して伝えてくれている。

湯上がりを風のくすぐる夕薄暑　大船 添田 洋子

この季題は事柄が何にでもつくので難しい。夕薄暑と時間を入れて佳句となった。

行く春に追ひ付く旅の列車かな　金沢区 岩澤 正春

妹逝きていく日今宵も星涼し　藤沢市 春山 多喜

教わるる虚実ないまぜ蓑虫　本鵠沼 宗 智尾

麦秋のまつただ中に着陸す　鵠沼桜が岡 一色千穂子

囀りの真つ只中を宮参り　逗子市 今泉 笹目町

夏落葉いつとなく人棲みかはり　小林刀羊子

念入りにバラの手入れや老夫婦　出蔵かおる

恥ろいて葉陰に熟るる実梅かな　羽賀 一男

討たれたる祐経宅にも虎ヶ雨　嶋 尚久

つゆ晴れ間喜び舞へる鳶かなし　七里ガ浜東 城廻 塩田 文子

どくだみや人間はつまずき易しとも　小美野京子

江ノ電の速度に添える若葉風　小河 哲美

老農夫市民農園初夏の朝　手広 高口 道宏

潮風に押され参道初夏の杜　腰越 松原 薫

鎌倉朝日 発刊協力グループ 朝日新聞サービスアンカー

ASA鎌倉小町 大町一―一一四 ☎22―3236
ASA鎌倉中央 長谷一―一九 ☎22―1004
ASA北鎌倉 大船一―二二―一六松栄ビル3F ☎38―7322
ASA鎌倉深沢 常盤二四七―二 ☎31―1444
ASA大船西部 玉縄一―一四―一 ☎46―6068
ASA大船南部 大船一―二二―一六松栄ビル3F ☎38―7322
ASA大船中央 大船一―二二―一六松栄ビル3F ☎38―7322
ASA腰越 藤沢市鵠沼藤が谷二―一―三 ☎0466―27―8716
ASA藤沢南部 藤沢市鵠沼藤が谷二―一―三 ☎0466―27―8716
ASA藤沢東部 藤沢市弥勒寺三―二二―一一 ☎0466―22―7409
ASA鵠沼東部 藤沢市鵠沼海岸二―一―一一 ☎0466―34―6924
ASA鵠沼西部 藤沢市鵠沼海岸二―一―一一 ☎0466―34―6924
ASA逗子 逗子市久木一―一―一一 ☎046―871―2368
ASA東逗子 逗子市沼間一―四―四 ☎046―871―6845
ASA葉山 三浦郡葉山町堀内一八〇八 ☎046―875―0515
ASA金沢八景 横浜市金沢区六浦一―二一―三三 ☎045―782―2859
ASA大船北部 横浜市栄区笠間四―二一―九 ☎045―891―0986